令和４年度　福島県立いわき支援学校　学校経営・運営ビジョン

＜ 努力目標 ＞

（１）　学校及び各学部における育成を目指す資質・能力を踏まえ、指導する内容や場面を明確にした授業づくりに努める。
　特に、「心ゆたかな人」の実現に向けて、自分自身に関することや他者とのかかわりに関することについて、発達の段階に応じた指導の充実を図る。

（２）　各教科の目標や内容を踏まえて作成した年間指導計画を基に、１２年間を見通した単元の配列や指導内容の系統性についての検討を通し、学びの連続性を重視した指導に努める。

教育目標

児童生徒一人一人の能力・特性に応じ、自立と社会参加を目指して、生きる力を育み、社会の変化に主体的に対応できる人間を育てる

＜ 児童生徒像 ＞

○ 自ら考え学ぶ人　　○ 心ゆたかな人　　○ じょうぶな人

＜ 学校像 ＞

- みんなが笑顔であいさつのできる明るい学校
- 将来に夢を持ち、主体的に学ぶことができる学校

◎ 家庭や地域住民、社会から信頼される学校

- 地域と共に歩み、地域で育ち、地域から必要とされる学校

＜ 教職員像　⑳ ＞

- 心身ともに健康で、意欲に満ちた教職員
- 共に学び、高め合い、研修に励む教職員

◎ 保護者や地域の願い、期待に応える教職員

◎ 法令を遵守し、使命感を持って教育に専念する教職員

＜ 自ら考え学ぶ人 ＞　知

一人一人の学びの充実を図ります

１　児童生徒一人一人の「学びの連続性」の確保
① 各教科の目標や内容を踏まえて作成した年間指導計画を基に、１２年間を見通した学部間の系統性について検討します.
② 一人一人の「学びの連続性」に向けた学年間、学部間の学習のつながりを意識した学級経営、学部経営を進めます。

２　育成を目指す資質・能力を明確にした授業づくり
③ 児童生徒の各教科の段階や実態を踏まえ、単元（題材）の目標及び指導内容を明確にし、評価の場面を工夫して観点別に適切に評価を行います。

３　情報活用能力の育成
④　ICT 機器を活用した授業実践に取り組み、活用事例を蓄積し教師間で共有することで、児童生徒の学習意欲や学習活動の充実を図ります。また、教職員による職務全体の効率化を推進します。

＜ 心ゆたかな人 ＞　徳

豊かな人間性・社会性を育成します

４　進路指導の充実
⑤ 小学部の段階から将来の姿を見据えて、自立と社会参加に向けて必要な力を育てていくとともに、入学から卒業まで一貫したキャリア教育を推進するためにキャリア教育全体計画を見直します。
⑥ 将来の姿を見据え、他者との良好なかかわりや他者と協力できる力、自己理解等の力を育成できるよう、発達段階に応じて道徳科の内容を踏まえながら、指導内容・場面を明確にした指導に努めます。

５　交流及び共同学習の推進
⑦ 学校間交流や居住地校交流、地域住民との交流を通し、経験を広げるとともに、社会性や豊かな人間性を育てます。

６　生徒指導の充実
⑧ いじめやＳＮＳといった児童生徒を取り巻く生活環境や家庭環境を踏まえ、情報モラル等の指導の充実を図るとともに、校内における相談機能の充実を図ります。

＜ じょうぶな人 ＞　体

健康で安全な生活を推進します

７　健康教育の充実
⑨『性に関する指導』について、全体計画を見直し、児童生徒の発達段階や実態に応じて、組織的、計画的に指導を行うとともに、各部間で連携し、指導の充実を図るための研修会を実施します。
⑩『新型コロナウイルス感染症』の予防を含め、生涯にわたって自ら進んで健康の大切さや健康の保持増進に向かう態度、習慣を身につけるようにします。
⑪ 児童生徒の食に関する健康課題を把握するとともに、学校給食や体験的な活動を中心とした食育の推進を図ります。

８　安全教育や防災教育の充実
⑫ スクールバスや路線バスの正しい利用について理解を進めるとともに、家庭や業者との連携を通した安心安全な通学を進めます。
⑬ 児童生徒の安心安全な学校生活を築くため、危機管理に関するマニュアルの確認と周知を図るとともに、防災教育について計画的、組織的に取り組みます。

地域や保護者と共によりよい学校をつくります

地域の資源を生かした体験・教育活動の充実	地域の特別支援教育の充実	切れ目のない支援体制の整備と充実
９　地域の人材や学習施設等の活用 ⑭ 地域の方々や保護者等を講師に招いたり、地域で行っている様々な活動に参加したりしながら、教育活動の充実を図るとともに、地域における自立と社会参加を推進します。 １０　大会や作品展等への参加と生涯学習への意欲づくり ⑮ スポーツ大会・作業技能大会、各種コンクール、作品展等への参加を通して、学習機会の拡充を図るとともに、生涯学習への意欲を高める機会をつくります。	１１　特別支援教育の理解と専門性の向上 ⑯ 特別支援教育セミナーや研修会を実施することで、教員の専門性の向上を図るとともに、地域における研修機会の充実を図ります。 １２　特別支援学校のセンター的機能の充実 ⑰ 幼稚園・保育所、小中学校等の要請に応じた支援を通して、地域の特別支援教育における指導支援の課題について把握するとともに、校内体制への支援を図ります。 １３　広報活動の充実 ⑱　ホームページの充実や各広報紙等の工夫、作業製品販売会等の機会を通し、本校の取り組みを積極的に発信し、地域における特別支援学校への理解啓発を図ります。	１４　相談支援の充実と関係機関との連携 ⑲ 就学前の幼児や保護者への支援を行うことを通して、早期からの豊かな発達を促すとともに、就学指導の充実を図ります。 ⑳ 家庭との指導、支援に係る共通理解を深めるとともに、保健、医療、福祉、教育、労働等関係機関との連携・協力を通した支援体制の構築を図ります。